

古典を抱き、古典に抱かれて 「古典の日」参加型展示企画

百人一首に挑戦!

久美浜高校創立記念日である11月1日は、「古典の日」と呼ばれています。この記念日は、我が国の代表的な古典文学作品のひとつ『源氏物語』について、著者・紫式部の『紫式部日記』に記載された年から数えて一千年になる2008年に、これを記念して制定されました。

久美浜高校図書館と図書放送委員会は、毎年この時期に、古典文学作品に関するクイズを出題するなど、全校生徒が古典文学に親しむきっかけとなるよう数々の企画を行ってきました。

今年度は、1年学年部で三学期に百人一首大会を予定されていることもあり、その一助となるよう、カルタ・百人一首をひとりから楽しめる参加型展示を実施しています。



校舎内の数か所に設置された百人一首の絵札は、『百人一首ぬりえブック』（このみひかる著、ひかりのくに、2003年刊）から、下の句を隠して拡大コピーし、図書放送委員が分担して丁寧に色を塗りました。それとは別に、下の句を書いた短冊、口語訳を書いた短冊を用意し、通りかかった生徒が自由に、絵札にあった短冊をぶら下げていく企画です。



小・中学校で覚えた和歌を懸命に思いだしたり、上の句の口語訳から下の句の短冊を導き出したり、楽しく学べるコーナーになりました。

